



## 東海・東南海地震に備えて学内体制の整備を図る! 地震防災力の向上を目指し、災害対策室を設置

名古屋市を含む愛知県の広い範囲が新たに地震災害強化地域に指定されたことを受けて、本学及び地域における地震防災力向上を図るため、平成13年9月に学内措置施設として設置された名古屋大学災害対策室は、1月23日、理学部E館において、松尾総長揮毫による看板の上掲を行いました。

看板上掲に先立ち、防災の専門家でもある松尾総長から災害対策室の設置の経緯及び同室の役割について、また、安藤災害対策室長から同室の今後の取り組み計画についてそれぞれ説明があった後、松尾総長、安藤室長、伊藤副総長、佐々木副総長、久野環境学研究科長及び小池事務局長による看板の上掲が行われました。当日は雨天にもかかわらず多数の出席者があり、同室の今後の活動への期待が大きなものであることが伺われました。

また、同室では、学内教職員向けの地震防災連続セミナーを毎月一回開催することとしており、1月15日には第一回セミナーが、工学研究科大会議室を会場に開催されました。

セミナーでは、「東海地震・東南海地震の真の姿」をテーマとして、安藤室長から、(1)東海地震とは、(2)最近注目され始めた理由、(3)地震予知は可能か、(4)最近気になること、(5)東南海地震・南海地震とは、(6)起きたらどうなるか、(7)名古屋には他の地震は起こらないのか等について分かり易く講演が行われました。講演後には活発な質疑応答が行われ、参加者の地震防災に対する意識の高さを感じさせるセミナーとなりました。

なお、次回以降の同セミナーは、各職場や家庭における実用的な防災対策や救急医療の問題など重要な問題を順次取り上げていく予定です。

### [ 災害対策室の主な業務 ]

- 防災に関する資料の収集と整理
- 本学での防災教育プログラムの作成
- 学内における防災担当者の勉強会開催
- 学内外の防災関連専門家との連携と支援
- 部局防災対策マニュアル作成支援
- 自然災害対策専門委員会への情報提供 等

